

㈱福光屋環境行動計画

平成 22 年 4 月 26 日

取組方針

㈱福光屋は、

- 1、お客様の立場にたち、今以上に信頼、満足、安心していただける商品と、サービス及び情報を提供する。
- 2、常に、時代のニーズを捉え、お客様が望まれる品質を追求し、健康で豊かな生活文化に貢献する。
- 3、更なる企業体質強化と社員のスキルアップのために継続的に改善を行い、事業革新にたえず取組む。

の以上の品質方針を具体的に実行します。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中で省エネルギーと省資源（節水）
- ② 製造部門、事業部門における廃棄物の削減
- ③ 危険物・化学物質の安全な取扱
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 22 年 4 月 26 日

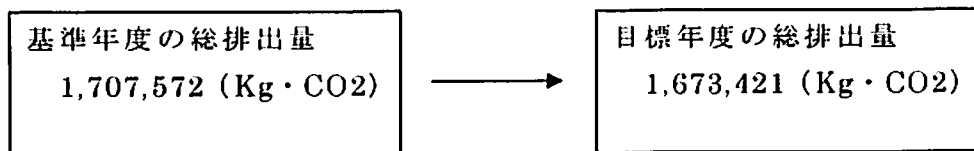
株式会社 福光屋

代表取締役社長 福光 松太郎

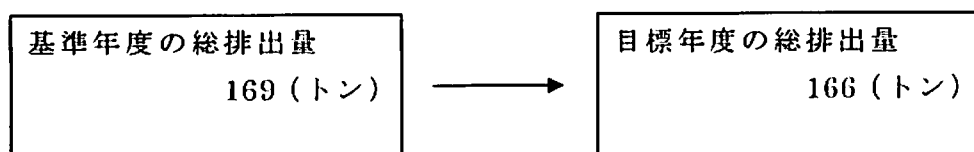
3、環境負荷の低減目標

平成 22 年度に向けての環境負荷の低減目標は、次の通りです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも平成 20 年度です。)

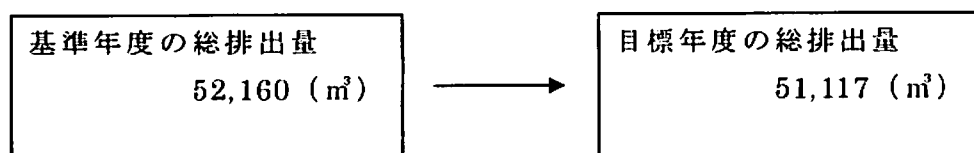
【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 2% 削減する



【目標 2】 産業廃棄物の排出量を 2% 削減する。



【目標 3】 水使用量を 2% 削減する



4、環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減 (製造部門での活動)

- ① 昼休みと休憩時には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る
- ② 冷凍機の運転管理を徹底する(長期間、使用しない場合はクランクヒーターは切る)
- ③ 冷凍機やコンプレッサー等のフィルターの管理を徹底する
- ④ コンプレッサーのエアリー漏れを定期的に点検する
- ⑤ コンプレッサーを設備の適正な吐出圧力に管理する
- ⑥ ボイラーの低空気比運転を徹底する
- ⑦ インバーター制御を検討する

(事務・営業部門での取組)

- ① 事務所の空調温度を適正に設定する
- ② 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ③ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ④ 営業車の環境負荷の低減
 - ・ 無駄な荷物は積まない
 - ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
 - ・ 空調温度を適正に設定する

【取組2】廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ① 廃棄物の分別と置き場管理を徹底する
- ② 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ③ 適正な生産計画を立案する

(一般廃棄物)

- ① ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ② 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に購入する

【取組3】水使用量の削減

- ① 井水の汲み上げポンプの運転状況を管理する
- ② 無駄な水使用を削減する

【取組4】その他の取組（環境委員会メンバーの活動）

- ① 構内の点検を行い、5Sを徹底する
- ② 環境負荷の低減に関する提案等を協議し、会社へ提言する

5、環境行動計画の実施体制

当社の組織にある環境委員会が、半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。

以上